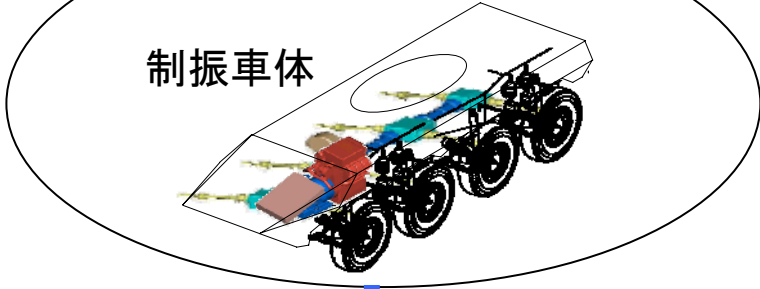


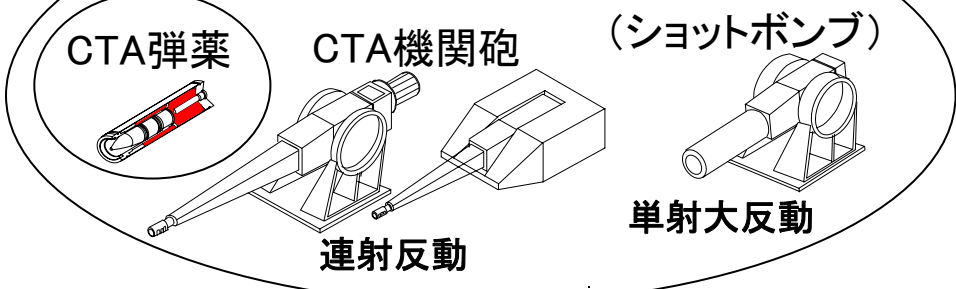
研究構想図

将来装輪戦闘車両のための共通基盤技術

機動力 ・車体動揺の抑制
・機動力の向上



火力 ・小型軽量・多機能化
・装輪車への車載化



ファミリー化検討
M&Sの活用による
システム設計(汎用性)

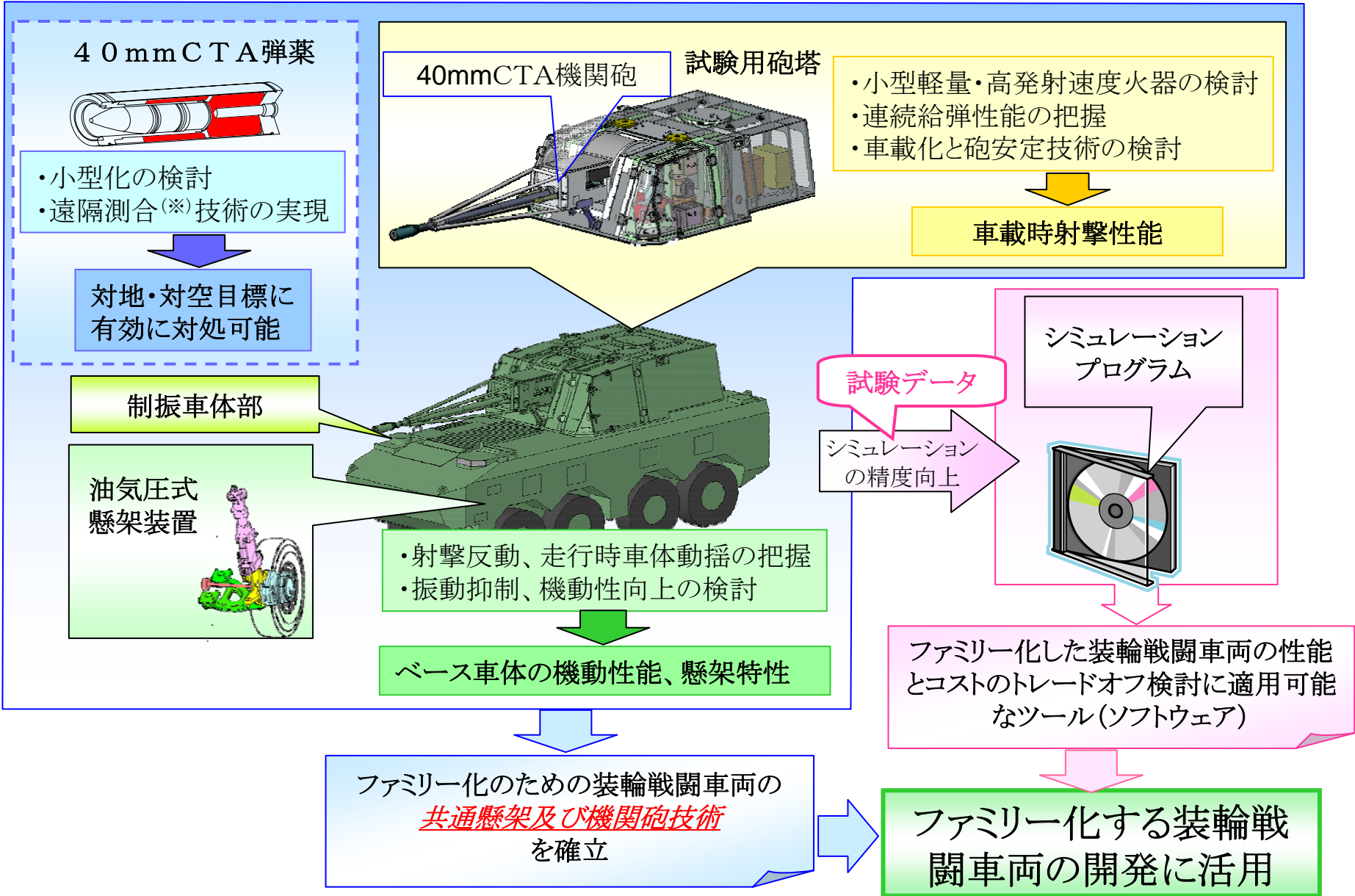
火砲無搭載車両

- 指揮通信車
- 補給支援車
- 人員輸送車

火砲搭載車両

- 対空機関砲搭載車
- 対地機関砲搭載車
(I)(人員輸送型)
(II)(偵察型)
- りゅう弾砲搭載車
- 迫撃砲搭載車
- 対戦車砲搭載車
- 多連装ロケット弾発射機
- 地雷原処理車

試作品の概要



*遠隔側合：機関砲の砲口を弾丸が通過する際、炸裂までの時間等を設定する機能

試 験 実 施 状 況

別紙 3




40mmCTA機関砲の連続射撃試験



障害版を使った路外機動試験

諸外国との技術比較（装輪装甲車）

別紙 4

名 称		将来装輪戦闘車両	BTR-80シリーズ	FUCHSシリーズ	ピラーニャⅢシリーズ (Stryker (米))
外 観		 (イメージ図)			
開発国 (メーカー)		日本	ロシア (ゴーキ・メカカル・プラント)	ドイツ (ラインメタル・システーナ)	スイス (モワグ) 米 (ゼネラル・ダ イミクス・ ランド・システムズ)
装備化国		—	ロシア 他	ドイツ、オランダ 他	米 (陸軍)、カナダ デンマーク 他
車 両	重 量	～ 22 t	13.6 t	19.0 t	18.5 t
	全 長	約6.8～約7.5m	7.65m	6.83m	6.96m
	全 幅	2.50～2.75m	2.90m	2.98m	2.66m
装備年度		—	1986年	1977年	2003年
各種車両 への 展開状況		(検討車種) 戦闘車 対空火器搭載車 偵察車 指揮車 人員輸送車等	人員輸送車、戦闘車 ミサイル搭載車 迫撃砲搭載車 指揮車、整備回収車 対空火器搭載車 偵察車	人員輸送車 電子戦器材車 レーダ車、指揮車 工兵車、爆発物処理車 NBC偵察車	人員輸送車、戦闘車 救急車、回収車 迫撃砲搭載車、指揮車 対空火器搭載車

諸外国との技術比較（CTA機関砲）

別紙5

名 称	40mmCTA（将来 装輪戦闘車両～近接戦闘車）	CTWS	RMK30
開発国 （メーカー）	日本	フランス、イギリス、 アメリカ (CTA International)	ドイツ (ラインメタル)
口径（mm）	40	40	30
弾薬形態	CTA	CTA	CTA (焼尽ケース)
弾種	調整破片弾、APFSDS	HE、APFSDS	HE、APDS
研究・開発 の状況	1994～2001 テレスコープ弾機関砲の研試 2003 将来装輪戦闘車両の研究試作開始 2006 近接戦闘車用機関砲システムの 研究試作開始	1994 CTA International設立 1996 口径40mmデモ 2001 車両搭載検討	1993 RMK30開始 1996 デモ射撃 2001 RMK30完成 2003～ 車両用売り込み中